

# ONE TEAM 美作

～美作市の未来をみんなで考える～

## ONETEAM 美作とは？

ジェンダーレス・多世代交流活動を通じて、美作市の文化・経済活動を発展させ、50年、100年先も笑顔で暮らせる地域社会の実現に寄与することを目的とし、活動を展開しています。



### 【意見募集】

本会では、皆様からのご意見を募集しております。お気軽にお問い合わせください！



活動報告・美作市の情報を発信中！  
インスタグラムをフォローください！

## 美作市議との意見交流会を開催しました！



令和6年3月17日（日）湯郷交流センターにて、美作市議との意見交換会を開催しました。3月議会でお忙しい中、8名もの美作市議の皆様にご参加いただきました。

また、市民からの参加者は10代の高校生から30代～40代の子育て世代、50代、60代まで幅広く約30名の方にご参加いただきました。当日は、5グループに分かれ、市議1～2名参加者

5～6名でグループトークを行いました。各世代からは様々な課題が取り上げられ、それに対して市議からは市政の取り組み状況などが伝えられました。

特に多かった意見は、子育て負担、子供の居場所についてでした。これらについて、掘り下げていきます。

【交流会の内容は裏面へ】

### 参加者の声

大原	30代	今まで議員の方と話す機会がなかったので良かったです。今日の意見を市議で取り上げてもらい、どのように改善されたのかホームページなどでフィードバックしてほしい。
美作	50代	本日各グループで出た意見がどのように議会や市に反映されるのか、ボトムアップ意見の時代になっています。どれだけ市民の意見を聞き入れるか、意見交換の場をどれだけ持つかが重要になるのではないかと思います。
勝田	40代	意見を実現するのに具体的なアクションがどうしたらよいか・・・これを機に市民の意識改革が出来たら良いと思う。
美作	40代	議会を身近に感じるとともに、市政について改めて意識が高まりました。美作市の未来が少し楽しみになりました。
美作	30代	実際に議員さんに話を聞いていただけて、議員さんの考えや現状も教えていただいたのでいい時間でした。
英田	10代	学生だけでは話し合えない内容であったり、実際に働く女性の声が開けて良かったです。

意見交流会に参加の市議の方々→

山本 雅彦 (やまもと まさひこ)	美作市議会 議長
安藤 功 (あんどう いさお)	美作市議会 副議長
新免 仁憲 (しんめん まさのり)	美作市議会 総務委員会 委員長
西村 大司 (にしむら たいじ)	美作市議会 文教厚生委員会 副委員長
金谷 のり子 (かなだに のりこ)	美作市議会 議会運営委員会 委員長
中山 忠明 (なかやま ただあき)	美作市議会 議会運営委員会 副委員長
中谷 祐輔 (なかたに ゆうすけ)	美作市議会 議員
倉地 重夫 (くらち しげお)	美作市議会 議員



## 美作市の現状コーナー / 出生数の推移 / 人口減少率

美作市（人口約2万5千人）と勝央町（人口約1万人）の出生数がほぼ同じという事実！

### 勝央町の出生数



### 美作市の出生数



近隣市町村では、美作市の人口減少が最も大きいと推計されています！

## 美作市議との意見交流会・主な意見

意見内容	分類
やりたい部活動ができる環境にしてほしい	学校
○ 高校通学に係る費用が負担に感じる。奈義町の例を見習って制度を導入してはどうか	学校
○ 近いうちに林野高校が無くなってしまわないかと思う	学校
○ かつて市内に3校あった高等学校の2校が廃校になり唯一残っている林野高等学校も定員に満たない状況が続く廃校の対象になっている。(令和10年までは存続決定しているものもあるが、その後は、状況により廃校の対象になるとのこと)	学校
○ 色々な先生たちが一つの場所に集まり、子ども達に多様な学びの環境を与えてほしい	学校
タブレット端末を学習にうまく活用してほしい	学校
若者男女のコミュニケーションづくり、親居世帯、第一子で引きこもりがちな親子への働きかけ	見守り
子育てや教育に関心のある人向けに講習会、養成講座を実施し、地域で子育て、見守り役になれる人を増やし、見守りの目を増やしてほしい	見守り
外国から来ている子育て世代へのサポートを充実してほしい	子育て負担
○ 乳幼児のおんがの給乳、または支給して欲しい、できれば定期便のような形でがちゃん訪問と兼ねて届けたいだけおぼろしい。	子育て負担
○ 給食費の無償化	子育て負担
土曜日の学童保育の無償化	子育て負担
産後教育の園外学級費の無償化	子育て負担
○ 小学生が自力で遊びに行く場がない、児童館が欲しい	居場所・遊び場
○ 子ども食堂が特田にしかない、美作市内全域にあればいいと思う	居場所・遊び場
○ アダプティブサッカー場の子どもへの無料開放してほしい	居場所・遊び場
県外に出た大学生が安心して帰ってこられる美作市にしてほしい	仕事
国道まで出る交通手段が少ない、高校生の通学、免許返納後の両親のことが心配	交通
○ バスなどの定期代の仕費が大きい、通学費用によって進路が狭まらぬようにしてほしい	交通
幼稚園・保育園から高校まで通学環境を整備してほしい	交通
市からの情報発信が上手くできていない、ホームページも見にくい	市政
今建てている建物の維持費が若者へしお寄せられないようにしてほしい	市政
○の継続意見	

複数のグループから出た意見には、①「津山や美咲町には児童館があるが、美作市にもほしい」、②「給食費を支援する自治体が出てきているが、美作市でも取り組まないのか」、③「高校通学費用の負担が大きい」があります。

### 児童館の設置の要望

岡山県内49か所に設置されている、遊びを通じて子どもを育成する施設「児童館」を美作市にも設置してほしい(現在設置なし)との意見が多くありました。昔みたいに山や川で遊ぶことが少なくなっている現代、同級生や年代の違う子どもとコミュニケーションをとる場所が必要になっています。

特に美作市は人口減少、高齢化も進み、地域で子どもの数も少なくなってきました。「児童館」を設置することで、「居たい」「行きたい」「やってみよう」と子どもたちが主体的に行動していくことが重要です。「児童館」は、地域の子育て拠点としての役割や、親同士の情報交換の場となり、地域コミュニティの維持につながる事が考えられます。

## 高校通学費支給

「子どもの学習費調査(文部科学省・令和3年)」によると、高等学校(全日制・公立)に通う子どもを持つ家庭が、1年間に支出した費用は平均512,971円でした。このうち、学校教育費(授業料、学用品費、通学費など)は309,261円となっています。この負担は、家庭にとって大きなものであり、周辺自治体でも通学費の補助制度等が整備されています。

・奈義町 / 就学補助 年額24万円(月2万円相当) ・新見市 / 通学定期券半額補助 ・吉備中央町 / 通学定期券半額補助  
・赤磐市 / 通学費 最大1万円/月×10か月 ・美作市 / 遠方通学費 最大年額1万5千円

この中でも子育て支援に手厚い奈義町は年間24万円を補助しており、上述の調査の学校教育費を8割程度まかなうものとなっています。一方、美作市は、遠方に通う学生に対してのみ最大年額1万5千円の補助にとどまっています。家庭の状況で、子どもの進学の実現が狭まることはあってはならないことです。地域で最も充実した就学制度を整備し、子育てしやすい環境を整えるべきです。

## 給食費の負担

「給食費」については、幼稚園から中学校まで約10年間において負担する費用であり、子育て負担額のベースを下げる意味では効果があると思います。家計が厳しいときに、食費は切り詰められやすいため、無償化を実現すれば、家庭環境に寄らず、全ての子どもが栄養摂取による健康増進の機会を得ることにつながります。最近、周辺市町村でも補助や無償化への流れがあります。

1. 勝央町=令和5年度3学期の給食費無償化(小・中)・令和6年度半額免除(小・中)
2. 奈義町=令和6年度から無償化(小・小・中)
3. 久米南町=令和6年度無償化(小・中)
4. 新見市=令和6年度から地域ポイント還元(小・中)
5. 備前市=令和5年度から無償化(小・中)
6. 総社市=令和5年度2学期、3学期の給食費支援金(小・中)
7. 瀬戸内市=令和5年度2学期、3学期の給食費無償化(小・中)

文部科学省調査では2021年の給食費は小学校で1人当たり月額平均4477円、中学校同5121円であり、年間の負担額は約5万円~6万円です。

## 子育て支援は最優先！ 国の支援を待つだけでなく、先進的な取り組みを！

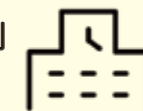
ONETEAM美作は、今回の意見交流会で意見の多かった「子育て支援」「子どもの居場所」の要望を形にするため、以下の項目について、行政機関に働きかけます！

「給食費無償化」  
を目指します！



美作市内全ての小中学生が栄養を十分摂取し、健康的に育つ機会の創出を求めます。

「高校通学費支給」  
を目指します！



美作市は、遠方に通う学生に対してのみ最大年額1万5千円の補助のみ。家庭の状況で、子どもの進学の実現が狭まらないよう、地域で最も充実した就学制度を整備し、子育てしやすい環境を整えるべきです。

「児童館の設置」  
を目指します！



地域での居場所を確保し、すくすく育つ子どもと親を応援して欲しい！

### 上記3点について

- (1) 署名活動を開始しました！ 署名は添付用紙もしくはこちらのサイトから→
- (2) 令和6年6月議会で「請願」していきます！

